



月山朝日観光協会イメージ
キャラクター「ガッさん」

キラリ☆月山☆
★

健康 元氣 にしかわ!

第6次西川町総合計画

ダイジェスト版



山形県 西川町

第6次西川町総合計画策定にあたって

昭和29年10月に西山村、川土居村、本道寺村、大井沢村が合併し、「西川町」が誕生してから、平成26年度で還暦60年を迎えます。この大きな区切りを迎えると同時に、新たな第6次西川町総合計画がスタートいたします。

私は、平成22年4月に町長に就任以来、「西川町を元気に!、若者に夢を!、女性の声を町政に!」をモットーに町民の皆様と共に町民参加型のまちづくりを進めてまいりました。

しかし、本町を取り巻く社会経済情勢は、大きな変革期を迎え、人口減少と超高齢化社会に加え、経済の地域格差の拡大や地域コミュニティ存続の危惧などによる地域活力の低下が懸念されています。まさにこれからの10年間は、山村自治体として「存続」をかけてまちづくりに取り組む覚悟が必要になります。

このような状況の中、総合的かつ計画的・効率的な行政経営を行うため、中長期的な展望に立ち、これから10年間のまちづくりの経営戦略となる「第6次西川町総合計画」を策定いたしました。

本計画の策定にあたりましては、総合政策審議会への諮問、答申、まちづくり委員との意見交換、地区座談会の開催、町議会議員との意見交換、パブリックコメント等により、幅広く町民の皆様から策定に関わっていただき、町民と一緒に計画づくりを進めてまいりました。

本計画では、「**キラリ☆月山、健康 元気 にしかわ!**」をまちづくりテーマ・合言葉に掲げ、町のシンボルである月山の豊かな自然と文化を活かしながら、まちづくりの最大の資源である町民の方々の健康と元気を維持し、誇りと所得を得られるようにしていきます。そのことが地域と町を活気付け、社会情勢がいかに厳しくとも生き残っていくことができる西川町づくりになると信じています。

また、本計画には各地区が主体になって策定していただいた『地域づくり計画』の概要を盛り込んでおり、行政の基本構想・基本計画と地域づくり計画が一体となった計画構成は、本計画の大きな特徴と捉えております。

今後10年間のまちづくりにあたり、町民一人ひとりがまちづくりの主役として輝き、すべての人が誇りと喜び、そしてゆとりをもって生き生きと暮らしていけるよう全力で取り組んでまいり所存であります。

最後に、本計画の策定にご尽力いただきました総合政策審議会委員の皆様をはじめ、まちづくり委員並びに町議会議員、町民の皆様方に対し、心からお礼と感謝を申し上げますとともに、今後ともなお一層のご指導、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



第6次西川町総合計画

ダイジェスト版

もくじ

このページだけでわかる総合計画の概要4

1. まず、まちの宝（特性）を再確認しましょう6
2. そのうえで、今後のまちづくりの方向性を考えましょう7
3. 今後10年間のまちづくりテーマ・合言葉を設定しましょう8
4. 10年後の人口と世帯数の目標を設定しましょう8
5. それぞれの役割を確認しましょう9
 - (1) 《町民が主体的に取り組んでいくこと》9
 - (2) 《行政が主体的に取り組んでいくこと》10
 - ①まちづくりの5本の柱
 1. 互いに協力し健やかに安心して暮らせるまちづくり10
 2. 総合産業が織りなす活力と賑わいと雇用をつくるまちづくり12
 3. 住み慣れた地域で心豊かな人と文化を育むまちづくり14
 4. 子どもや若者の笑顔があふれ女性がいきいきするまちづくり16
 5. 財源確保と行政改革、情報推進体制が整備されたまちづくり18
 - (3) 《地域が主体的に取り組んでいくこと》20
6. みんなで取り組む目標を決めましょう！22

《まちづくりの目標数値》



総合計画とは・・・

総合計画とは、現状や課題を分析し、まちの進むべき方向性を福祉・産業・教育・文化・自然・環境などあらゆる分野において総合的に計画し、西川町の将来像の実現に向けた取り組みを示したもので、未来を動かす最上位計画です。

◇計画の構成と期間

この総合計画は、基本構想と基本計画及び実施計画で構成されます。

基本構想は、町が目指す将来像を描き、基本目標や施策の展開方向を示し、基本計画は、基本構想を実現するための基本施策の方向を示すものです。また、実施計画は、基本計画を具体的に実施するための財政計画と連動した計画です。期間は、平成26年度から平成35年度までの10年間と設定しています。



年度	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	
基本構想	10 かん										
基本計画	5 かん					5 かん					
実施計画	3 かん			見直し ローリング方式で毎年見直し							
	3 かん										
	3 かん										

西川町総合計画の概要を
月山朝日観光協会キャラクター
「ガツさん」がご案内します！





このページだけでわかる
総合計画の概要

10年後も存続できる町の姿 10年間のまちづくりのテーマ・合言葉

“キラリ☆月山” 健康 元気 にしかわ!



町民の役割 町民が主体的に取り組むこと

●町民みんなで下記の運動を推進していきましょう

みんなのために わたしのために

みんなが主役運動

一人ひとりが地域づくり・まちづくりに参画を
《象徴的な取り組み：まちづくり基本条例の設定》

やっぱり、この町はいいね

まち自慢運動

西川町で暮らすことの優位性、楽しさを確認
《象徴的な取り組み：西川版幸福指標の創設》

生涯を元気に

現役延長運動

町全体の現役世代を広めて活力の維持を
《象徴的な取り組み：現役80代宣言!》



行政の役割 行政が主体的に取り組むこと

まちづくりの基本目標

- 互いに協力し健やかに安心して暮らせるまちづくり
- 総合産業が織りなす活力と賑わいと雇用をつくるまちづくり
- 住み慣れた地域で心豊かな人と文化を育むまちづくり
- 子どもや若者の笑顔があふれ女性がいきいきするまちづくり
- 財源確保と行政改革、情報推進体制が整備されたまちづくり

●7つの重点事業を掲げまちづくりに取り組んでいきます

県内一の健康長寿のまちづくり

【健康長寿プロジェクト】

- 生涯にわたる健康診断体制や生涯健康データの管理と対策
- 地産地消による栄養バランスのとれた食事の推進と健康料理の普及と啓発
- 生活習慣病改善教室や健康運動教室、あわせてスポサポと連携した健康づくり運動の展開

生活の基礎となる地域機能の保持

【安全・安心・持続プロジェクト】

- 地域における役職や組織を簡潔にし、また従来の区や公民館等を一元化できる体制づくり（(仮称)地域づくりセンターの設置）
- 各地域に（仮称）地域づくり協議会を設置し、地域づくり計画の各種事業を展開

食べていける産業基盤づくり

【総合産業基盤強化プロジェクト】

- 町内産物の町内消費を拡大できる流通体制づくり（町内飲食店の産直からの購入拡大、町内加工食品の原材料の生産、町内商店からの購入）
- 月山銘水館を産業交流の拠点地として定期的市機能や総合交流促進センターのリニューアル整備
- バイオマスを中心とした地域資源活用型再生エネルギーの開発

「健康づくり」をキーワードにした総合産業づくり

【健康産業創造プロジェクト】

- 薬膳効果のある健康に良い作物の栽培（一次産業）+健康づくり増進にこだわった特産品の開発（二次産業）+温泉・自然水・月山まんま・ブナの森林浴・トレッキングを組み合わせた健康滞在プログラム（三次産業）での総合産業の推進

町民が自慢できる文化・町外の方が憧れる文化づくり

【出羽三山文化復興プロジェクト】

- 「地域の宝」を再把握し、文化財指定制度への登録や地域における伝承支援、文化イベントの創出
- 山菜きのこ料理を拡充して、産業振興を図る「山菜きのこ王国づくり」の柱としての「山菜学」の振興
- 町民ひとり1趣味、1スポーツの展開

日本一の自然教育・学習先進地づくり

【自然教育・学習推進プロジェクト】

- 旧大井沢小中学校をリニューアルし、大井沢自然博物館・自然と匠の伝承館や県立自然博物館等が連携して環境学習・自然学習の拠点地を整備
- 都会に住む子ども達に向けた自然体験学習を通じた教育旅行受入の拡充
- 県内外教育委員会や大学との教育提携

地域と町を支える人材づくり

【人材育成プロジェクト】

- 妊娠期からの母子への支援や子育て経済支援等の環境整備
- 学校と地域が連携し、郷土に愛着が持てる教育と伝承行事の継承
- キャリア教育や特技を伸ばす教育等の実践
- 高校・大学等進学への負担支援や卒業後の帰還誘導条件整備
- 若い世代に地域・まちづくりについて興味・関心を持ってもらう機会の創出
- 女性が社会進出しやすい環境や活躍できる機会づくり



地域の役割 地域主体的に取り組むこと

●各地区地域づくり計画を実践していきます
（下記は計画書のテーマを計上）※計画内容はP20.21に掲載

睦合地区 睦合公民館と睦合公園を拠点とした地域づくりの推進

海味地区 希望と魅力あふれる夢“海味”

間沢地区 地域資源を活かし賑わいを生み出す間沢 / 交流と連携で活性化する間沢 / 安心して暮らせる山村集落間沢

綱取地区 地域の“輪”・“絆”・“助け合い”、そして生まれる「綱取物語」

岩根沢地区 歴史と文化の里

水沢地区 豊かで清らかな水の里と住み良い地域環境をめざして

吉川地区 共に笑顔で楽しく生き活きと

沼山・原地区 “森と湖沼の輝きを永遠に” 地区民皆が輝く笑顔を目指した地域づくり

入間地区 集落維持をめざした地域づくり / 蛸の里づくりの継続

小山地区 地区維持発展のために

本道寺地区 月山・湯殿山・月山湖と寒河江川を資源にした地域振興

大井沢地区 大井沢の人と産業が“つながり”かつ“外ともつながる”

詳細は次ページからになります。

1. まず、まちの宝(特性)を再確認しましょう



お宝1 自然条件・土地の形態等

磐梯朝日国立公園、ブナの原生林、自然と共生する生活文化

お宝2 歴史と文化

出羽三山信仰及び丸山薫の詩の精神文化、先人の知恵と技術の結晶“山菜料理”

お宝3 交通立地条件・道路環境

県内の中央に位置、2箇所のインターチェンジ

お宝4 資源活用

水にこだわったまちづくりとクリーンエネルギー

お宝5 町民の活力と相互扶助

地域づくり計画、地域おこし協力隊、まちづくり応援団

お宝6 保健・医療・福祉

三位一体、保健センターを中核とした展開

お宝7 教育学習

自然研究発祥の地、小中一貫教育、複数の学習施設

お宝8 環境・景観

里山の生活環境、ふるさとの田園風景



2. そのうえで、今後のまちづくりの方向性を考えましょう



西川町の宝(資源)を活用しながら、6つの視点でこれからのまちづくりを行っていきます。

これまでの発想の延長、経験値では対応できない

地域社会の変動・個人の価値観の変化に加え、超少子高齢社会の突入により、従来の手法による行政サービスでは対応できない状況になり、事業の見直しやまちづくりの根本的な発想の転換を行います。

町民が主役の一“健康”な町民、“元気な”地域に

まちづくりの主役は『町民』であることを認識し、町民と行政とが対等の立場で責任を共有しながらまちづくりを進めていきます。また、心身ともに健康な町民、元気な地域活動の展開がまちづくりの基本になります。

余生を“養生”に、また“女性力”の発揮を

超高齢社会の中での“高齢者”や“女性”パワーを地域活動のみならず、貴重な労働力として発揮できる環境づくりを創り上げていきます。

地域資源のフル活用で産業振興を

奈良・平安時代から続いている出羽三山信仰とその文化、具体的には旧暦の生活様式、信仰の道である六十里越街道、山菜料理などの豊富な資源があり、また月山や朝日連峰の四季の自然・景観等と大量の雪、水、ブナの原生林、さらに自然教育発祥の地としての教育資源もあり、これらをフル活用し産業振興に取り組んでいきます。

新しいコミュニティ、協働体づくりと人材育成

今後10年間で高齢化率の上昇に加え人口減少による地域の担い手不足と地域の活力の喪失が懸念されますが、これまでの地域組織を一括し、地域の役割分担を明確にし、「(仮称)地域づくりセンター」を視野に新たな体制の検討を進め、併せて人材育成も行っていきます。

この町で生きることの誇りと喜びを

町民が、この町で生活し生きていくことに幸福と喜びと誇りを感じる事がまちづくりの根幹であり、その指標を表す『西川版幸福指標』を作成していきます。この指標は、これまで町の施策において焦点化されてこなかった「個人がどういう気持ちで暮らしているか」に着目し、指標によって明らかになった事実に対して、政策の改良や新たな政策の提案を促していきます。

3. 今後10年間のまちづくり テーマ・合言葉を設定しましょう

今後10年間、まちづくりを進める上で、どんなまちづくりを目指すのか、また、どんなことを核にしてまちづくりを行うのか、その基本姿勢をわかりやすく伝えるために、まちづくりテーマ・合言葉（キャッチフレーズ）を定めます。



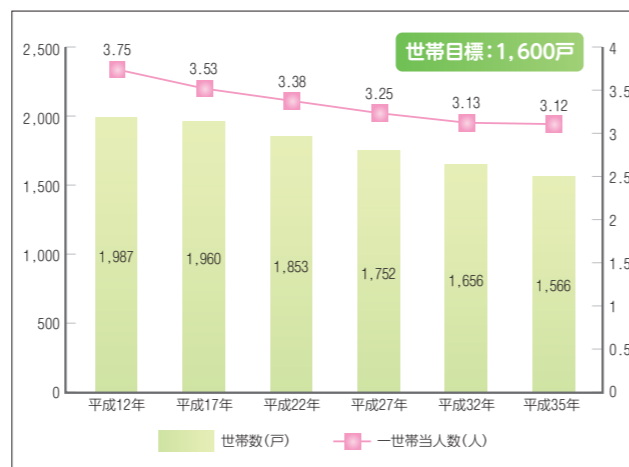
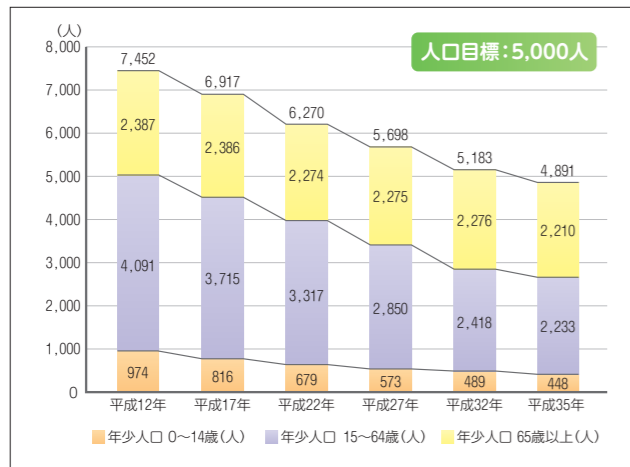
「生きがいの輝き」と「健康」「元気」がキーワード

「キラリ☆月山」健康 元気 にしかわ!

これまで先人が大切に守り育ててきた歴史、文化、資源をフル活用しながら、豊かな感性と健やかな体づくりを行うとともに、食べていける産業基盤づくり、持続できる地域コミュニティづくり、時代を担う人材育成等に取り組んでいきます。まちづくりのテーマ・合言葉は町全体の資源を活用して、そこに根付いてきた歴史、文化を磨き、心と体の元気な人々が地域を活性化させ、元気なまちづくりを行っていく姿を表します。

4. 10年後の人口と世帯数の 目標を設定しましょう

平成22年度国勢調査での西川町の総人口は、6,270人です。今後も少子化や人口流出が予測され、平成35年度には、人口4,891人、世帯数1,566戸と見込まれます。今後の各分野における施策が成果をあげ、出生数・転入者の増、死亡者数・転出者の抑制を行うことにより、目標年次である平成35年度の目標人口を5,000人、世帯数を1,600戸と設定します。



平成22年までの実績値は、国勢調査の数値 平成27年・平成32年は、国立社会保障・人口問題研究所数値 平成35年は、政策推進課推計

5. それぞれの役割を確認しましょう



(1) 町民が主体的に取り組んでいくこと

今後10年間のまちづくりを進めるため、町民一人ひとりが次のことを確認し、町民運動として取り組んでいきましょう!

～町民みんなで行っていき 3つの町民運動～

ひとつ

みんなが主役運動

みんなのために わたしのために
一人ひとりが地域づくり・まちづくりに参画を

行政と地域が役割分担を行い、これまで以上に連携し、町民一人ひとりが地域づくり、まちづくりに関わっていくことを町民全員が決意し確認を行っていきます。

『象徴的な取り組み：まちづくり基本条例の設定』

ふたつ

まち自慢運動

やっぱり、この町はいいね 西川町で暮らすことの優位性、楽しさを確認

西川町で暮らすことの優位性、楽しさを確認していきます。そのため町に住み続ける誇りと満足を得ることができるように、独自の客観的指標を表します。

『象徴的な取り組み：西川版幸福指標の創設』

みっつ

現役延長運動

生涯を元気に 町全体の現役世代を広めて活力の維持を

西川町における現役年齢は、少なくとも80代までとし、健康で元気な町を目指します。

『象徴的な取り組み：現役80代宣言!』

(2) 行政が主体的に取り組んでいくこと



① まちづくりの5本の柱

今後10年間のまちづくりを進めていくための、中核となる5本の柱をまちづくりの『基本目標』として設定していきます。

基本目標 1

互いに協力し 健やかに安心して暮らせるまちづくり

～健やかな体づくりと安全・安心・持続できる地域の生活環境整備を行っていきます～



健やか まちじゅう元気人

町民自らが主体的に健康づくりに取り組み、超高齢化でも健康寿命が長く、各分野で生涯現役で活動していくための健康づくりを、全町民挙げて取り組んでいきます。また、町立病院の機能を確保しつつ、町民が受診しやすい質の高い医療の提供を行います。

はつらつ80代をめざして

日常生活のきめ細かな支援を進めるため、高齢者が安心して快適に生活を送れる環境づくりを進めていきます。また、より長く住み慣れた地域で、安心して生活ができるよう地域包括ケアの充実を図っていきます。【地域包括ケアの5つの視点・・・介護、医療、予防、生活支援、住居】

障がい者の地域生活支援

障がいの有無にとらわれずに地域社会でいきいきと共生できるように、障がい者福祉の推進を図ります。



みんなで助け合う地域防災

災害時に対するマニュアル整備や訓練の実施を通じて、行政の危機管理体制の強化を図っていきます。また、災害時において危険箇所等を把握した上で安全に避難、防災活動を効果的に実施できるよう地域の安全は地域で守れる体制づくりに取り組みます。さらに消防団組織の機能強化にも取り組んでいきます。

快適な雪国生活の提供

除雪の行き届いていない部分への支援と高齢者に配慮した除雪体制に取り組み、また、流雪溝や雪捨場の計画的な整備に取り組んでいきます。さらに、冬の伝統行事の伝承や、冬に楽しめる遊びを普及、啓発していきます。



持続できる新たなコミュニティづくり

地域と合意形成を図りながら、区・公民館等の地域組織を簡潔・一元化し、地域の自主性及び自立性を高めていきます。また、人口が減り、集落としての機能がなくなった場合に、地域住民と十分意見交換をした上で集落移転等の対策を検討していきます。さらに、空き家の活用やIJUW ターンサポートセンターを設置し定住促進を支援していきます。

生活環境保全の推進

下水道接続と合併処理浄化槽への切替の普及促進を図っていきます。また、町民一人ひとりのごみ削減運動を展開するとともに、ごみの分別や搬出を徹底しリサイクル率を高める運動に取り組んでいきます。さらに不法投棄の未然防止を図るため、監視の強化や投棄防止啓発運動に取り組めます。

快適・利便性の高い暮らしづくり

自然災害に強く町民が安全で安心して快適に生活できる生活基盤の整備を行います。既存の基盤施設は計画的な維持保全に努めるとともに、長寿命化対策を推進していきます。また、町民生活の多様化に応じた住まいと住環境の形成を図っていきます。さらに、公共交通不便地における交通手段の確保や町営バスと他公共機関との接続機能の向上を図っていきます。

【取り組み概要】



健やか まちじゅう元気人

- ◆健診受診率向上のための町民運動・地区組織活動の強化
- ◆子ども世代から健康な生活習慣づくり教育支援
- ◆救急医療体制の充実とAED設置の支援と普及
- ◆“かかりつけ医”機能の拡充

はつらつ80代をめざして

- ◆地域と密着したミニデイ等地域交流事業の実施
- ◆地区担当保健師と地域の連携強化
- ◆高齢者向け共同住宅等の整備
- ◆ロコモティブシンドローム予防の普及
- ◆地域ケア会議による的確なニーズの把握と包括的ケアの実施

障がい者の地域生活支援

- ◆身体障がい者福祉協会、ともしび会等団体支援強化
- ◆介護・訓練等給付による支援の強化
- ◆自立支援医療及び補そう具等の支援強化
- ◆社会参加と就労支援等日常生活支援の充実

みんなで助け合う地域防災

- ◆他自治体・民間事業者と災害時の相互応援協定を締結
- ◆防災知識の普及啓発・防災教育の強化
- ◆消防団の意識の啓発と団員確保
- ◆地域防犯等照明LED化
- ◆交通安全思想の普及と交通安全環境整備

快適な雪国生活の提供

- ◆除雪ヘルパーやボランティア等の利便性向上
- ◆地域にあった流雪溝整備の検討

持続できる新たなコミュニティづくり

- ◆(仮称)地域づくり推進協議会の設置
- ◆IJUWターンサポートセンターの設置

生活環境保全の推進

- ◆下水道及び浄化槽接続の推進
- ◆ごみ量1人1日100g削減運動
- ◆ごみのリサイクル対策
- ◆不法投棄の監視・啓発
- ◆再生エネルギー導入によるCO2削減

快適・利便性の高い暮らしづくり

- ◆自然災害に強い生活基盤の整備(道路等)
- ◆道路橋りょう等の長寿命化推進
- ◆利便性の高い町営バスの路線・ダイヤの推進
- ◆他公共交通機関との連携
- ◆町営住宅の建築



基本目標 2

総合産業が織りなす活力と 賑わいと雇用をつくるまちづくり

～農・林・商工・観光
個別産業の基盤整備と各産業をつなぐ総合産業のひとつの切口として健康づくり産業を進めていきます～

活気づく「農、林、業」の推進

個人の就農者の育成や集落営農組織の法人化等を図り、農業の経営体の育成、強化、また、経営効率を上げるために農地の集約を行うとともに、耕作放棄地の活用を図っていきます。さらに、農業生産意欲の向上と町の顔となる



特産物づくりを推進していきます。加えて町内産木材の利用促進も図っていきます。

町内経済の循環と雇用創出

町民の町内買物志向を促進するために商業機能の集積を図り、町民の地産地消意識を醸成し、町内経済循環システムづくりを構築していきます。また、町内企業の後継者や町内事業所への支援、空き校舎や地域資源を活用した新規産業・企業誘致対策を積極的に推進していきます。さらに、町全体として望ましい第3セクターと経営体制確立の取り組みを支援していきます。

ライフスタイル提供型観光の推進

観光客のニーズを踏まえた効率的・効果的な情報発信により誘客を図るとともに、地域の優れた資源である食・歴史・温泉・生活文化を活かした観光戦略を図っていきます。また、国際観光としては従来の韓国・台湾からの誘客を図るとともに、東南アジア諸国の市場ニーズを調査し、山形県の動きと同調し展開を模索していきます。



地域資源活用型再生エネルギーの創出

町内の水・森林・雪等を活用して新たなエネルギーへ転換し、原材料の収集から製造・利用まで一貫したシステムを確立しながら、公共施設や住宅にエネルギーを供給できるシステムの構築を検討していきます。



【取り組み概要】



活気づく「農、林、業」の推進

- ◆新規就農者の支援
- ◆集落単位の営農組織の法人化の支援
- ◆既存ビジネスから異業種参入支援
- ◆遊休農地の活用支援
- ◆農産加工の推進
- ◆山菜きのこ生産強化と流通対策
- ◆畑作野菜と花木、果菜類の栽培振興と流通対策
- ◆価格補償制度の検討
- ◆零細林家を集約した施業の推進
- ◆切り出しから搬出、製材の連携の仕組み強化

町内経済の循環と雇用創出

- ◆地産地消町内物流調整
- ◆定期的市機能の確保等による商業機能の集積
- ◆健康食品・特産品の開発及び販路確保
- ◆防災飲食セット販売（月山自然水・発芽胚芽米等）
- ◆町内企業後継者支援事業
- ◆空き校舎を活用したビジネス創出
- ◆コミュニティビジネス新規ビジネス起業支援
- ◆資源活用型企業誘致
- ◆第3セクターの機能強化等支援

ライフスタイル提供型観光の推進

- ◆自然と温泉を活用した健康づくりツアーや滞在プログラムの整備
- ◆デトックス効果ツアーの整備
- ◆ガイドの養成やツアーコンダクターの育成
- ◆祭りの賑わい演出と調整
- ◆台湾・韓国・中国等からの誘客促進
- ◆観光協会機能強化支援
- ◆高速バスストップの設置検討

地域資源活用型再生エネルギー創出

- ◆小水力発電の検討
- ◆木質燃料の製造・活用



基本目標 3

住み慣れた地域で 心豊かな人と文化を育むまちづくり

次世代に引き継ぐ文化振興

～地域の宝発掘・誇りの醸成と日本一の自然教育・学習先進地づくりを行っていきます～

地域の宝を発掘・保護するとともに、地域の子どもたちに継承していく体制を整備し、多くの方がその文化に触れる機会を創出していきます。また、町の文化素材を学びに来る方を増やし、文化交流を活性化していくための受入整備を行い、文化振興を図っていきます。



生涯にわたる生きがいつくり

町内学習施設等の連携を図り、年代別に学習プログラムを整備し、郷土学習の強化を図っていきます。また、「ひとり1スポーツ」運動の推進とスポーツサポート西川を活用したスポーツ環境整備を行い、町民の健康に対する意識の高揚とスポーツに親しむ機会の提供を図っていきます。さらに、競技スポーツは幼少期にスポーツに親しめ、携われる環境の整備を図り、特に町のスポーツ「カヌー・スキー」を推進していきます。



全国に誇れる自然教育・学習の推進

町の豊かな自然の恵みを上手に取り入れ、大井沢自然博物館・自然と匠の伝承館、県立自然博物館、水の文化館、丸山薫記念館等と連携し、全国に誇れる自然教育・学習を推進していきます。



【取り組み概要】



次世代に引き継ぐ文化振興

- ◆地域伝承文化の継承
- ◆文化財の保護・調査・指定
- ◆文化財資料の保存・整理
- ◆地域の宝発掘・展示
- ◆歴史資料館整備
- ◆山菜学の振興
- ◆食の文化祭の開催
- ◆ジオパーク認定申請の検討
- ◆県「未来につなぐ山形の宝」認定申請の検討
- ◆丸山薫「青い黒板賞」コンクールの広域化

生涯にわたる生きがいつくり

- ◆ひとり1趣味運動
- ◆月山学及び月山にしかわ大学の整備
- ◆歴史文化学習の推進
- ◆「町を知る」初級郷土学習機会の整備
- ◆国際交流協会への活動支援
- ◆ひとり1スポーツ運動
- ◆スポーツサポート西川の拡充
- ◆町のスポーツ「カヌー・スキー」の推進
- ◆東京五輪選手の輩出
- ◆町民体育館整備

全国に誇れる自然教育・学習の推進

- ◆(仮称)自然教育・学習センター設置
- ◆自然教育・学習プログラムの体系化
- ◆移動学校・移動塾受入
- ◆県内外の教育委員会との教育提携
- ◆大学との教育提携
- ◆教育旅行の受入体制の再構築及びリピーター確保
- ◆(仮称)月山ミュージアム推進協議会の設置
- ◆ミュージアムの広域連携



基本目標 4

子どもや若者の笑顔があふれ 女性がいきいきするまちづくり

子育て応援基盤づくり

妊娠期からの母子への支援、子育て世代の健診の体系化、さらに子育て面における経済支援等を行い、安心して育てることができる環境を整備していきます。また、ひとり親家庭など、支援を必要とする家庭に向けた日常生活支援や相談支援を実施していきます。さらに、次世代の親となる子どもたちが豊かな自然に親しみ、自然の営みや命の大切さを理解し、自然と正しく共存する方法を学び、豊かな人間性を形成していきます。

～少子化対策と次世代育成の拡充、また、女性が活躍できる場の整備を行っていきます～

郷土に愛着 豊かな感性を磨く教育

保育園とも連携しながら西川町らしい小中一貫教育を展開していくとともに、多様な教育ニーズに対応した教育環境を整備していきます。また、高校通学の負担支援や大学進学支援を拡充していきます。さらに、統合小学校の教育が地域と連携できるような体制整備を行い、伝承行事の継承等の郷土教育を推進していきます。



町を支える次世代育成

地域全体で結婚を推進するとともに、若者同士の交流の機会を拡充していきます。また、若者が住みやすい住環境を整備するとともに、住宅建築に際しての経済的支援も拡充していきます。さらに、若い世代に地域・まちづくりについての興味・関心を持ってもらう機会を創出していきます。



女性が活躍できるまちづくり

女性が社会進出しやすくするために、家庭における家族の意識改革や町内の各役職における女性登用のあり方の見直しなど、環境整備を行っていきます。また、女性ならではの発想力やアイデア、能力を活かせる起業支援体制を整備していきます。

【取り組み概要】



子育て応援基盤づくり

- ◆子育て支援会議の設置
- ◆母子健康診断及び健康相談の充実、強化
- ◆安全に子育てができる環境づくり
- ◆家族子育て応援制度の拡充
- ◆保育サービスの充実（休日保育・保育料軽減化検討等）
- ◆医療支援等の継続強化
- ◆不妊に悩む人の支援
- ◆障がい児童に対する支援
- ◆思春期の心身の健康づくり
- ◆子育ての悩みの解消相談窓口の強化

郷土に愛着 豊かな感性を磨く教育

- ◆義務教育の費用支援
- ◆海外留学等支援
- ◆高校生の通学対策
- ◆保・小・中一貫教育
- ◆夜間英語塾等の開設
- ◆郷土学習強化（郷育）
- ◆地域の教育力強化
- ◆学校支援地域本部活性化
- ◆西川少年少女自然塾の開催
- ◆育成会組織の見直し（地域組織との連携）

町を支える次世代育成

- ◆結婚相談員活動の拡充
- ◆旅行エージェント活用婚活事業
- ◆町内企業就業支援拡充
- ◆みどり団地の分譲
- ◆若者定住支援事業
- ◆若者まちづくり会議の開設
- ◆町民の国内外派遣制度
- ◆若者が参加できるお祭りイベントの創出
- ◆西川町を元気にする会GENの自立化支援
- ◆高校生ボランティアくれよん活動支援

女性が活躍できるまちづくり

- ◆女性のまちづくり会議の開設
- ◆町の役職への女性割当目標の設定
- ◆他機関によるレディースセミナー等の参加派遣の支援
- ◆男女共同参画計画の策定
- ◆女性の知識と技術を活かしたビジネス支援



基本目標 5

財源確保と行政改革、 情報推進体制が整備されたまちづくり

健全な町政 スリムな行政

第6次総合計画で掲げる各施策を実行できる財政計画を策定するとともに、その編成、執行にあたっては各種財政指標をクリアできるよう確認を行い、健全化と公表に努めていきます。また、歳入の根幹でもある町税については、高い収納率を確保し自主財源の安定的な確保に努めていきます。さらに、主要施策を実施できる効果的な組織編制を行うとともに、行政職員の資質向上に取り組んでいきます。



～まちづくりの実行力の整備と効果的な情報発信を行っています～

【取り組み概要】



健全な町政 スリムな行政

- ◆ 財政健全化指標のチェック
- ◆ 行政補助事業及び民間助成金の活用
- ◆ 口座振替納付等の促進による徴収率向上
- ◆ 町税相談員配置による滞納額の整理
- ◆ 町有林活用の検討
- ◆ 政策課題解決型研修
- ◆ 地域と行政の業務区分の見直し
- ◆ 「町長と語る会」の拡充
- ◆ ふるさと納税の活用
- ◆ 町制施行60周年及び65周年



ひらかれた情報の収集と発信

効果的な町の情報発信を進めるために、町内外の個人や事業所との連携・調整を行い一元的に取り扱う基盤として「(仮称)情報プラットフォーム」を整備していきます。また、スマートフォンやタブレット端末など、時代に合った情報通信機器とSNS(ソーシャル・ネットワーキング・サービス)等の情報通信機能を活用し、情報発信のネットワークを強化していきます。さらに、紙媒体を主たる情報源としている高齢者などにも配慮し、これまでどおり紙媒体での情報発信を行うとともに、より一層の内容充実を図っていきます。



ひらかれた情報の収集と発信

- ◆ (仮称) 情報プラットフォームの整備
- ◆ SNSによる情報交流の場の設置
- ◆ スマートフォン等への観光情報等の発信
- ◆ 効果的な情報発信人材の登用(月山ふるさと大使・観光大使等)
- ◆ テレビ共聴組合の一元化

(3) 地域が主体的に取り組んでいくこと

各地域において、平成24年度～25年度にかけて、地域で取り組んで行く具体的な方向性を示した「地域づくり計画」を策定しました。その計画に基づき、特色を活かした地域づくりを今後展開していきます。

※各地区の《主な施策》は主要な取り組みの紹介です。



◆本道寺地区 (志津・弓張平含む)

テーマ：月山・湯殿山・月山湖と寒河江川を資源にした地域振興

- 《主な施策》
- ・ ゆうあい広場やゆうあい訪問の実施
 - ・ 寒河江川本道寺つり道場の運営基盤の再整備
 - ・ 本道寺移住村システムの構築
 - ・ 荒地の耕作、豪雪野菜のブランド化
 - ・ 旧六十里越街道を基軸に湯殿山信仰や月山を資源にした観光による交流人口と定住人口の確保

◆大井沢地区

テーマ：大井沢の人と産業が“つながり”かつ“外ともつながる”

- 《主な施策》
- ・ 交流人口・定住人口の維持確保（移住者の積極受入等）
 - ・ 旅館民宿の後継者対策、経営手法の検討
 - ・ 自然学習の環境整備と拠点としての小学校施設及び伝承館の利活用
 - ・ 自主防災組織の設置検討
 - ・ 町内会の合併再編と他組織の見直し

◆小山地区

テーマ：地区維持発展のために

- 《主な施策》
- ・ 山菜の「小山ブランド」への取り組み
 - ・ 美しい風景、豊かな自然を活かした山里づくり
 - ・ 高齢者世帯の見守り支援、買物支援体制づくり
 - ・ 農地、森林等の保全
 - ・ 高齢者の生きがい創出

◆水沢地区

テーマ：豊かで清らかな水の里と住み良い地域環境をめざして

- 《主な施策》
- ・ 清らかな水を生み出す森林の保全管理
 - ・ 用水路、流雪溝の適正な使用と管理
 - ・ 直売所等を活用した農産品等の栽培振興
 - ・ 大八六七の史実の伝承、祭礼の継承
 - ・ 月山神社の祭典、神輿、お柴灯等の伝統行事の継承

◆入間地区

テーマ：集落維持をめざした地域づくり 蛍の里づくりの継続

- 《主な施策》
- ・ 地域振興・活性化のための情報収集
 - ・ 山林の有効活用のための勉強会の開催
 - ・ 農地の継続的な保全管理
 - ・ 高齢者世帯への対応
 - ・ 花いっぱい運動、蛍の里づくりの推進、ゴミ不法投棄防止活動の推進

◆岩根沢地区

テーマ：歴史と文化の里

- 《主な施策》
- ・ 高齢者世帯の見守りや相談ボランティアの組織化
 - ・ 入村・離村に関わる申し合わせ事項の作成
 - ・ 町内会単位での観光（岩根沢：行燈の整備等、西岩根沢：観光きのこ園等、桂林：あつみかぶの焼畑栽培等、沼ノ平：和紙の復活等）
 - ・ 集落協定の一本化

◆綱取地区

テーマ：地域の“輪”・“絆”・“助け合い”、そして生まれる「綱取物語」

- 《主な施策》
- ・ 生活用道路並びに通学路の確保
 - ・ 一家一人参加の促進
 - ・ 一人暮らしの方への近所の見守りの体制
 - ・ ホームページの更新（地域づくり活動の周知）
 - ・ 綱取歴史文化の継承（お柴灯・綱取太鼓・民具）

◆沼山・原地区

テーマ：“森と湖沼の輝きを永遠に” 地区民皆が輝く笑顔を目指した地域づくり

- 《主な施策》
- ・ 町道沢口向中軸線改良
 - ・ 長沼・大沼森林公園の利活用
 - ・ 天狗山歩道整備・活用
 - ・ 一人暮らし世帯等の安否情報の共有、買物支援等
 - ・ 災害時要援護者の避難誘導対策



◆間沢地区

テーマ：地域資源を活かし賑わいを生み出す間沢 交流と連携で活性化する間沢 安心して暮らせる山村集落間沢

- 《主な施策》
- ・ 間沢宝マップの作成と昔話の伝承
 - ・ 姥上桜の保全・保護
 - ・ 間沢スキー場の夏季利用拡大
 - ・ 祭りを間沢の活力源に（山菜や菊との連携）
 - ・ 地域防災力の向上（防災マップ・避難訓練・要援護者支援等）

◆海味地区

テーマ：希望と魅力あふれる夢“海味”

- 《主な施策》
- ・ 豊富な森林資源の活用（山菜・きのこ栽培促進）
 - ・ 海味の歴史を反映した町並みづくり
 - ・ 春祭りの拡大・充実（神輿を中心とし町を代表する祭りへ）
 - ・ 高齢者安心巡回システム整備（安否確認・買い物支援等）
 - ・ 地域防災組織の立ち上げ

◆睦合地区

テーマ：睦合公民館（コミュニティ施設）と睦合公園を拠点とした地域づくりの推進

- 《主な施策》
- ・ 睦合公園リニューアル構想の推進
 - ・ 林道山林の維持、農産物等の直売所の開設等
 - ・ 地区内組織の検証、熊野集会所の改築等
 - ・ 学童相撲の継承、伝統文化保存団体活動継続等
 - ・ 除雪ボランティア、自主防災組織の設立等

◆吉川地区

テーマ：共に笑顔で楽しく生き活きと

- 《主な施策》
- ・ 区民の憩いの場設置、体験交流受入（交流サロン運営）
 - ・ 吉川加工所、食堂、直売所設置
 - ・ 安中坊跡地整備
 - ・ 地域ミニデイ、見守り活動、除雪ボランティアの実施
 - ・ 自主防災組織化



6. みんなで取り組む目標を決めましょう!



施策の達成目標を分かりやすく示すため、指標と数値を用いて**達成目標**を示したものです。



	現 状	平成 30 年度 (目標)	平成 35 年度 (目標)
平均寿命 (男性)	79.6 歳	80.9 歳	82.2 歳
〃 (女性)	86.5 歳	87.7 歳	89.0 歳
介護認定率	18.7%	21.0%	22.0%
後期高齢者医療費 (少額県内ランキング)	3 位	2 位	1 位
健康診断受診率 (特定健診)	56.5%	60.0%	65.0%
地域組織再編数 (仮称)地域づくりセンター数	0 地区	5 地区	12 地区
自主防災組織数	5 地区	13 地区	13 地区
IJUW ターン者数 (年間)	25 人	40 人	50 人
町民所得 (人口一人当)	1,986 千円	2,000 千円	2,150 千円
産業総生産額 (1 次)	366 百万円	381 百万円	386 百万円
〃 (2 次)	3,337 百万円	3,300 百万円	3,500 百万円
〃 (3 次)	8,093 百万円	8,320 百万円	8,720 百万円
産業生産額 (食産業)	1,892 百万円	2,000 百万円	2,200 百万円
町内購買指数	16.3%	20.0%	22.0%
観光入込客数 (総数)	658,112 人	794,000 人	930,000 人
〃 (宿泊)	44,914 人	57,400 人	70,000 人

	現 状	平成 30 年度 (目標)	平成 35 年度 (目標)
野菜生産量等 (なす)	35.1t	40.4t	44.4t
〃 (南瓜)	28.7t	33.0t	36.3t
〃 (ほうれんそう)	8.7t	10.0t	11.0t
〃 (にんにく)	0.5t	0.6t	0.7t
〃 (山菜)	41.4t	47.6t	57.3t
〃 (きのこ)	29.5t	33.9t	37.3t
山菜きのこ (出荷量)	40.0t	50.0t	80.0t
〃 (出荷額)	33 百万円	45 百万円	70 百万円
特産品開発数 (月山ブランド認定数)	4 品目	20 品目	30 品目
歴史文化学習会 延参加人数	200 人	230 人	260 人
「ひとり1趣味 1スポーツ」人数 (文化祭出品数・出展数, スポ サポ, 健康フェス参加者数)	668 人	800 人	960 人
教育旅行受入人数	797 人	2,000 人	2,500 人
教育提携数	0 校	1 校	3 校
若者の町内帰還率 (23 ~ 27 歳)	57.7%	60.0%	65.0%
女性の町役職定着率	18.9%	20.0%	30.0%

※現状の数値は、計画策定時の直近データを計上

